

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ささえあいコミュニティ 生活協同組合新潟	代表者	武田 貞彦	法人・ 事業所 の特徴	事業所では利用者さまが生き甲斐をもって生活できるように取り組みます。 地域の方とも多くの時間を共有し豊富な経験や知識を教えていただきながら、利用者様と 共に、よき隣人としてお付き合いをできるような関係を目指します。いまだ蔓延してる 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防にも努めてまいります。
事業所名	ささえ愛まえかわ	管理者	伊藤 健一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	人	2人	人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	・長岡介護専門学校の実習生を受け 入れに申込して新卒採用を目指 す。・職員待遇を改善して魅力のある 求人内容にする。	・人員が充足していて新規採用が 困難で申し込みできなかった。 ・最低賃金見直しで全職員の給与 を引き上げた。	・専門学校の方に受け入れをお願い すると毎年ご案内が届きます。 実習生を受け入れ、関係性を築きこ とで新規採用につながります。	・新規採用の有無にかかわらず、実 習生の受け入れを専門学校に依頼 する。 ・外部評価の研修を実施する。
B. 事業所の しつらえ・環境	広報誌の作成を工夫して地域の方 々にも見ていただく。 ・アンケートに食事の項目を設け る。	・回覧版で地域の方へのていただ くことができなかった。 ・アンケートに食事の項目を設け なかった。(忘れてしまった。)	・回覧板で広報のPRは重要です。 ポスティングも頑張っています。 ・四季を感じる飾りづけで居心地 の良さそうな空間になっています。	・広報の発行を年2回から4回へ 発行を増やす。(春・夏・秋・冬号) ・何らかの方法で事業所のPRを 考える。
C. 事業所と地域の かかわり	・近隣のボランティアさんを更に 受け入れる。 ・トモシアにレクボランティアさん の受け入れを依頼する。	・ボランティアさんが1名から2名 になった。 ・トモシアにレクボランティアを 申し込みができなかった。	・どこかのタイミングで色々なボ ランティアを受け入れないといけ ないですね。・感染症の対応も かなり緩くなっている。	・例年できなかったトモシアにレク ボランティアさんの受け入れを依 頼する。 ・市政だよりでイベントを探し利 用者様と参加する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取り組み	・地域行事を探して利用者様に参加 していただく。	・地域の避難訓練に参加する予定 だったが中止になった。 他の行事をみつけれなかった。	・前川地区は4町内ありますので イベントを協議会で聞いてみます。 ・今年から運動会の回覧が可能に なりました。	・運動会を回覧する。 ・地域の民生委員さんと連絡を取 り連携を依頼する。
E. 運営推進会議を 活かした取り組み	・今後も運営推進会議に提案された 内容を積極的に取り入れていく。	・委員の方の意見や助言を参考に 運営に活用した。	・職員さんに運営推進会議の議事 録をみてもらい意見を聞きたい。 ・地域の事例検討会は個人情報の 問題があって難しい。	・運営推進委員会の議事録を職員 に回覧して意見や感想を聞く。 委員会にフィードバックし運営に 役立てる。
F. 事業所の 防災・災害対策	・介護保険で令和5年度末までの 経過措置項目を運営規定に反映 させる。・近所の地域支援者の 把握に努める。	・災害、感染症BCPを設置、感染症及 びまん延防止の指針を作成し運営規定 に反映させた。 ・近隣の地域支援者を把握できなかつ た。	・年度初めにい防災計画を提示さ れるといいと思う。 ・運営推進会議に訓練をからめて いただけると参加できる。	・5月の運営推進会議に防災計画を 回覧してもらう。また運営推進と連 動して避難訓練に参加していただ く。